

パートナー

市民活動はまちの未来を創造する

シリーズ

大学生
活動と世代交代 最終回
卒業後も消えない
活動への想い
(2,3ページ)

鍋シートで団体活動を見える化 交流しながら見つける活動へのヒント



12/20(土) ~集まって話してみるところからはじめましょう!~ 活動団体のあったか鍋会談(ナベトーク)

自分たちの団体の活動は今どんな状態なのか？他の団体の活動のことも知りたい。
お鍋を囲むようにほっこりしながらの交流会『活動団体のあったか鍋会談(ナベトーク)』を開催しました。
参加者からは「他団体と交流する中で、良い刺激やヒントも得られ情報共有もできました」「ワークシートに表すことで団体に足りないものが明確になった」「来年はどのようになっているか比較してみたい」などの感想がありました。
同じ団体の中で、違った立場の方が集まってのナベトークもお勧めです。みなさんいかがですか？

先輩から後輩へ、学生から社会人へ ～学生時代の活動への「想い」は、卒業しても消えない～

連載してきた学生×世代交代の最終回として、卒業を目前に控えた4年生の牧野琴衣さんと木村空流美さんに学生時代の活動を振り返ってもらいました。更に、高校生時代から社会人になった現在も活動を続けている齊藤夢果さんをナビゲーターとして迎え、先輩たちが作り上げてきた想いとの向き合い方、後輩に託したことを紐解いていきました。そこには、「学生として」やりがいを感じる一方で、「学生」という立場に悩んでいる姿もありました。



まきの ことえ
元代表 牧野 琴衣さん
静岡大学自閉症ボランティア
サークルスマイル…他
▶ vol.133 特集掲載

元代表 木村 空流美さん
地域コラボ
▶ vol.135



活動に一步踏みだした瞬間

空流美- 1年のKUSAフェスというイベントがきっかけでした。高校の吹奏学部がコロナ禍で披露する場がないということで始まった企画で、ステージ設営について考えたり、飲食の出店者を招いたりして、その時に「自分たちもできる」と感じました。KUSAフェスをきっかけにもっと頑張ろうという気持ちになったと思います。

夢果- 意識が変わったのは、東日本大震災のボランティアの人から「知らない人同士が仮設住宅に入るから、お互いにストレスが溜まって車をぶつかりそうな位置に停める」と聞いた時でした。もし、自分が同じ状況になったらそういうことになってしまうかもしれないと感じたんです。その時に、2.0の「日常的に繋がることの大切さ」がしっく

りきました。

琴衣- 最初から自閉症や障害がある子どもと関わりたかった訳ではなかったですが、1年生の2泊3日のキャンプが楽しすぎて、その世界に魅了されて入り込んでいきました。

「らしさ」との向き合い方 正解のない問い

琴衣- 先輩後輩関係なくアットホームな雰囲気、子どもについて語り合う空気が良いと思ってました。1年生の見学後に、後輩から「スマイルらしくなかったですね」という時もあれば、逆に「久しぶりにスマイルらしい会ができましたね」と言われることもありました。「らしさ」の言語化は難しいですね。



空流美- 地コラらしさというのはわからなかった

けど、「ビジョン/ミッション」をぶれさせないことが大事と感じていました。最初は「ビジョン/ミッション、この2つ同じ？」みたいな感じでした。私は「学生と地域を繋げたい、お互いに価値を提供しあいたい」という意味だと解釈していました。



夢果- 最初、私も2.0の

らしさがわからなかったです。「会が楽しければ繋がれる」と感じるのに、振り返りの時に代表が不十分のことを言うし、その理由を聞いてもわからなかった。でも、コロナ禍に行った勉強会で「共通の言葉」を共有していくことで、「大切にしたいこと」がわかってきました。それから「らしさ」がわかるようになりました。



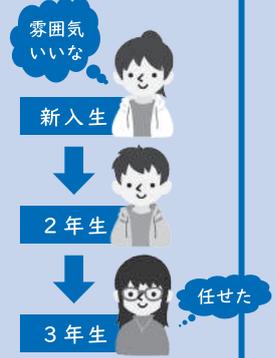
むらくるみ
村空流美さん
プロジェクト
5 特集掲載

さいとう ゆめ か
齊藤 夢果さん
静岡2.0
▶vol.131 鼎談掲載

取材コラム

大学生団体の世代交代の特徴

- ▶新1年生が入らないと、存続ピンチ!!
毎年卒業(引退)する生徒がいるため、1年でも空白ができるピンチ!!
- ▶先輩から後輩への引継ぎが大事
「雰囲気が良い」「先輩が優しそう」という動機が入った後輩への引継ぎは難しい・・・
- ▶引き継いだ代のカラーが反映される
想いを引き継ぎつつも、その代の中心メンバーによって活動への関わり方は変わる。



活動から影響を受けた 新たな自分の一面

琴衣-「世界を広げてくれた」感じですかね。スマイルに入ってなかったら自閉症の子たちの世界も知らなかったし、AVECに入ってなかったら地域で子どもを育てるという世界も知らなかったし、きみのスペースまんなまに行っていなかったら不登校の子の世界も知らなかったと思います。

空流美-さらに「行動的」になったと思います。やりたいと思うことがあっても、結局「やりたいな」で終わることが多かったけど、地コラに所属してからは、「たぶんできる」がスタートになりました。協力してくれたOB・OGの人、相談に乗ってくれた社会人、私よりも熱量持って参加してくれる後輩に恵まれ、「私はできる」「この団体はできる」という想いが強くなりました。

琴衣-教育学部の学生のほとんどが、卒業後は教員になっていきます。でも、学校以外で子どもと関わる魅力を知ったので、

そういった仕事をしたいと思っています。ただ社会人になっても引き続き関わりたいけど、子どもとの関係性が変わるかもという不安を感じています。学生は、「支援する/される」という「縦」の関係性ではなく、子どもと「斜めの関係」を築ける立場だと思っています。

空流美-「学生」というより、この活動に地コラが参加する意味があるかで考えていました。活動で知り合った先輩が「学生だからできることを悩むけど、後から『あれは学生だからできたこと』ぐらいでいいんだよ。自分たちのやりたいことをやればいいよ」と言ってもらったのも大きかったです。

近くで見たいという理由で、就職先を決めました。

琴衣-七間町に子育て支援センターができるのをきっかけに、七間町名店街の方々は「子育ての町」にしたいそうです。地域団体が入り、「まちづくりに子どもが関わる」ことが大事だと思っています。子どもが入ることで「化学反応」が起きることが良さだと思います。

夢果-2人のことは知っていたけど、「どうい\\う人か」までは知らなかったので話を聞いて嬉しかったです。ありがとうございました。

卒業しても消えない 活動で育んだ想い

空流美-静岡市に就職するので、これからも草薙と関われるのが嬉しいです。活動を通じて「草薙が目指す地域」を知ったので、「自分の目で進化を見続けたい」とも感じていました。浜松の企業のインターンにも行ったけど、関わりたいのは静岡市だし、草薙のことを

ナビゲーター 齊藤 夢果さんからのコメント

空流美ちゃんの草薙、琴衣ちゃんの七間町も、その地域で活動している団体が大事にしている「想い」に惹かれてるからこそ、今後も「関わりたい」と感じているのかなと思いました。私も静岡ではない地名がついた〇〇2.0でもたぶん好きになっていったと思います。



💡 NPOワンポイント 「注記」は大切、必ず記載を！

NPO法人は事業年度終了後、所轄庁に事業報告書等を提出します。
その書類のうち、計算書類(活動計算書・貸借対照表)については、「注記」を記載する必要があります。静岡市HP(検索:NPO法人⇒届出等様式)には1~10までの項目が載っているので、個々の団体に該当するものを記載します。多くの団体に該当する項目として

■重要な会計方針 ■固定資産の減価償却の方法 ■消費税等の会計処理 などがあります。

注記は、「財務諸表と一体のもの」と位置づけられ、計算書類の内容を補足するとても重要な情報です。必ず記載しましょう。

監査を担当される方へ

計算書類の確認にあたり、注記のほか、以下についてもチェックしてください。
記載の矛盾を見受けることがよくあります。

1. 活動計算書：前期繰越正味財産額と前年度の繰越額との一致
2. 活動計算書の次期正味財産額・貸借対照表の正味財産合計・財産目録の正味財産の3点の一致



📣 センター主催講座のお知らせ

NPOの会計力アップ 決算書作成講座

基本的な会計の仕組みや流れについて学び、段取り良く決算書類を作るための講座です。
設立間もない団体、初めて決算書類を作成する会計担当者、また事業を監査する方、ぜひご参加ください。

日 時 令和8年2月14日(土) 13:30~16:30 定 員 10団体(申込順)
講 師 税理士 中尾さゆりさん(特定非営利活動法人ボランティアネイバーズ 理事長) 参加費 300円(資料代)

令和8年度 事務ブース入居団体募集

※入居にあたっては、選考委員会による審査があります。

市民活動団体が事務所として利用できる事務ブース(10件)の入居団体を募集します。

利 用 料 5,230円/1カ月

備 品 ・事務用デスク、椅子
・大型ロッカー
※インターネット接続可

申請期限 2月28日(土)
必要書類を添えて申し込んでください。



◀大型ロッカー
横90cm
縦210cm
奥行42cm

申請書類の請求、
お問い合わせは 清水市民活動センターまで

🔍 しみず・ごしなかに? その70



東海道の宿場町、蒲原と江尻の宿の間にある由比は、往来する旅人の休憩地ともなる「間の宿(あいやしゅく)」として発展し、現在も昔のたたずまいを残す町並みは、ウォーキングを楽しむ人たちの人気スポットにもなっています。

街道沿いの古い建物の中には、軒桁に腕木を継ぎ足して軒先を長くした特徴的な景観を持つものがあります。「せがい造り」と呼ばれ、日差しや風雨を遮るためと聞きますが、しっかりした腕木が並ぶ様は風格があります。

さらに、両端の軒桁の腐食を防ぐための工夫として取り付けられているのが「下り懸魚(げぎょ)」(矢印)と呼ばれる板です。もともと社殿に取り付けられていたものが、江戸時代に民家にも使われるようになったそうですが、由比では大正初期に普及しました。平成末の調査では、約30%がその伝統的な建築と報告されていますが、その数は時とともに減りつつあります。